

会 議 記 録	
会議名	第2回 やいた市民会議
日 時	平成 25 年 7 月 2 日 19 時 ～ 21 時 20 分
場 所	市役所 3階 第一委員会室
参加者	市 遠藤市長、江面総合政策課長、横塚秘書政策班長、秘書政策班 手塚副主幹 やいた市民会議委員 15名
1. 開 会	
2. あいさつ要旨（遠藤市長）	
皆様こんばんは。お疲れのところ、お集まりいただきましてありがとうございます。 前は「やいた市民会議とはどういうものか？」ということを理解していただく会議となりました。今日は、第2回目の市民会議ということで、実際に皆さんから具体的なご意見をいただくことになります。市民を代表する立場で、「矢板市政に対するご意見番」として、改善意見、新たな政策提言や事業仕分け的なご指摘でも結構です。それぞれの立場で、自由闊達なご意見をいただければと思っています。 まちづくり基本条例が、平成23年11月1日に施行されました。市民と行政が共に力を合せてまちづくりに取り組むこと、市民・市・議会としての役割と責任を明文化しました。その中で「市は多様な方法を用いて市民の意見や提案を求めて行政に反映させなければならない」、「市民は市政に関する計画や政策の立場から参画する権利を有して意見を述べることができる」となっています。現在、市が取り組んでいる政策、事業、これからやるべきこと等、それぞれの立場でご意見をいただければと思っていますので、限られた時間ではありますが、自由な発言をお願いいたします。	
あいさつ要旨（奥原会長）	
皆さん、こんばんは。この「シンクタンク」は、矢板市として初めての試みであり、こういった会議も初めてということで、どこかで意見をまとめたいと思っています。 矢板市を良くするためには、いろんな意見があると思いますので、皆さんには大局に立ってのご意見を沢山出していただければと思っています。不慣れでございますが、どうぞよろしくをお願いいたします。	
3. 矢板版シンクタンクについて	
「矢板版シンクタンク」は、政策研究会議、職員によるプロジェクトチーム、そしてこの市民会議の3つの組織で成り立っています。この市民会議において市の課題問題を明確にするという意味では、すべてのスタート、起点となります。	
この会議では、課題に対しての解決策は導き出す必要はなく、それに対して市からの回答もありません。委員の皆様のご自由なご意見をいただければ良い。いくつかの市の課題が明確になりまとまったら、市長へ提言としていただく。それを政策研究会議やプロジェクトチームにお	



いて調査研究し、最終的には市長への政策提言としていただき、できたら平成２６年度からの事業に反映させたいと考えています。
４．意見交換
・子育て/施設の活用（母親の居場所づくり、室内公園（小中学校の空き教室や体育館の利用）
・子育て（祖父母の子育て勉強会）
・定住（若者を定住させ、税金アップを図る。子どものふるさとづくり。市営住宅や民間のアパートを借り上げ安く貸し出す。）
・学校（補助的人材として、一般人のパート雇用）
・地域（同じ地域の中で、若者世代（特に新規の居住者）と高齢世代がそれぞれ住みやすいような環境（行政区・班内の行事や慣習、地域性など）の改善が必要。）
・その他（市民アンケートの実施。２０才以上の全市民対象に無記名、封書。調査期間を長めにとり、様々な意見収集を行う。）
・子育て/高齢者（シニアクラブや育成会等の加入率が低い。）
・学校（小学校の学区、学校とＰＴＡ・育成会の問題）
・地域/子育て（積極的な世代間交流の推進。子どもと交流することにより、親ともふれあえる。）
・高齢者（介護保険にかかる費用（約２２億円）を減らすために、何らかの施策を考えられると良い。）
・行政（市職員の意識改革、課内の情報共有・共通認識、スペシャリストを適材適所に配置、市民対応をスムーズに行うシステムづくりの検討）
・行政（市職員の人事配置、専門的知識を持った職員の育成と継続的な知識を配慮した人事異動）
・雇用（企業誘致、他との差別化や企業にとってのメリットを考案）
・観光（道の駅と城の湯温泉センターとの連携、両施設間の流れをつくる）
・自然/観光（行ってみたい自然・景観を演出。ツツジや紅葉をＰＲ。八方ヶ原の道路整備）
・子育て/教育（相談窓口の体制改善（特に若い母親向け、発達障害・言語障害の子どもを持つ親などに分かりやすいシステムの提供が必要。様々な相談窓口があることをもっとアピールするべき。）
・子育て（周囲の友人等の話では、矢板市の子育て施策は好評（満足）である。今後の展開にも期待している。）
・地域（自分の住んでいる地域の活動（役職・行事・清掃等）が多すぎる。）
・地域（若い世代は共働きが多い状況で、働く女性に優しいまちづくりをしてほしい。）
・産業（矢板は交通の便が良いので、大型商業施設などがもっとあると良い。）
・自然/産業（何気ない光景に、矢板の良いところが沢山ある。それを発掘し、上手く活用する。）
・人口増加（人口が増加することにより、メリットもあるがデメリット（治安の悪化等）もある。失うものが出てくる可能性もある。）

・産業（企業誘致、三重県がシャープ亀山工場を誘致した際、研究所から工場までの高速道路無料化を行った。思い切った政策が必要。）
・施設の活用（シャープの社宅やサッカー場、グラウンドなどの施設の活用。）
・定住（子育て支援エリアを作る。市内に子育て世代の新規居住者のみのエリアをつくり、そこから色々な地域との交流を行う。）
事務局から
本日、この市民会議としての意見が集約しきれなかったので、近日中に再度会議を持ちたいが、いかがか？
委員 了承
⇒ 7月8日（月）19時から同じ会場で、第3回目の会議を開催する。
5. 閉 会